

# naoのそら色リボン運動

性同一性障害（GID）を持つ人たちへの理解の輪を広げるために、今、あなたにできること。

**性同一性障害**（GID = gender identity disorder）を持つ人は、国内推定 7000 人～70000 人ともいわれ、ホルモン療法や性別適合手術などの医療が認められています。

しかし、GID を抱える人々が、安心して社会生活を送れる環境はととのっていません。

偏見や無理解による差別や人権侵害、さまざまな社会制度からの事実上の締め出しが、当事者たちの生きる権利をおびやかしているのです。



## nao のそら色リボン

幅 12mm、長さ 11cm くらいの空色のリボンをくるとクロスさせ、ボンドなどで固定し、裏側にピンをつけます。

だれもが青い空のもとで、安心して生きられるように。

**「私は GID 当事者と共にあります」**

そら色のリボンに託されたメッセージです。

「正社員になるには住民票や戸籍の提出を求められるので、アルバイト生活のままで、高額な治療費を捻出しています。」

「僕は男なんだ。ただ、間違っって女の体になっているだけで…。まるで全然ちがうぬいぐるみを着ているみたいなんだ。」（ドラマ『3年 B 組金八先生』〈TBS〉性同一性障害を抱える生徒、鶴本直の言葉）

「実生活と身分証明の性別とが異なり、本人と信じてもらえないから銀行口座も作れないんです。」

「病院の窓口で不審者のように見られた。保険料を納めているのに保険証を使うのはためらう。」

「仲間の1人は保険証の性別をどうしても見せたくないあまり、ガンの発見が遅れて死んでしまった。」

「ホルモン治療も手術もすべて保険適用外。必要な治療なのになぜ…？」

「望みの性になれた私に母は言った。“こんなに素敵な娘がいたなんて！”…ふたりで抱き合い、泣きました。」

「海外では出生証明書の性別訂正を認める国が増えている。戸籍制度のある台湾でも OK なのに。日本って人権後進国だよ。」

NAO のそら色リボンとこのちらしを広めてください。 GID について、理解を深めてください。

## nao の会

賛同およびアクション報告は下記までどうぞ。

TEL:042-382-8301 / メール:nao-ribbon@sky.email.ne.jp

WEB: <http://naonokai.fc2web.com/>

お手紙等はこちらまで：〒123-0845 足立西郵便局留 FTM 日本気付 nao の会